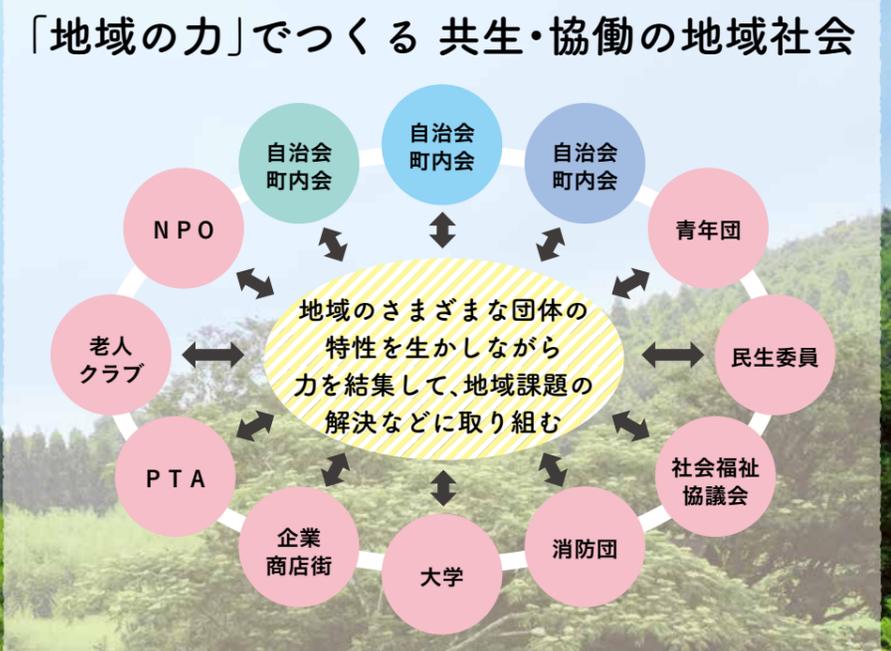


# 特集 これからの地域をつながる地域 の力をもっと楽しく 共生・協働の地域社会づくり

鹿児島県の地域社会には、近所同士が支え合い、子どもを見守り、お年寄りを大切にし、世代を超えた交流を行う「結い」の文化があります。人口減少や少子高齢化が進む中、今こそこの伝統を生かし、子育て支援、高齢者の見守り、防災・防犯、地域活性化などに「地域の力」を結集して取り組むことが求められています。鹿児島県では、地域課題の解決や地域の豊かな未来づくりに向けて、共生・協働の地域社会づくりを進めています。今回は、「キラリと輝く」県内各地の取り組みをご紹介します。



1 地域の力を合わせて建てたツリーハウス。ブランコや滑り台などの楽しい仕掛けがされている。  
2～5 ピザ作りや竹水鉄砲、お菓子作りなどの体験を通して、たくさんの人と交流できる。

## 01

子育てを応援することで地域全体が輝き始めた

NPO法人  
子育てふれあいグループ自然花

山あいの緑豊かな集落に、子どもたちの弾んだ笑い声と大人たちの楽しそうな話し声が溢れている。住民の約60%が高齢者である枕崎市木口屋集落の光景だ。NPO法人子育てふれあいグループ自然花は、「親子で一緒に参加できる体験の場を作り、より良い親子関係を築く手助けをしたい」という思いから、この集落で川遊びなどの自然体験や、お菓子作りといった郷土文化の体験活動を行っている。集落のお年寄りも先生として活動に加わり、生きがいづくりにもなっている。集落には、長い間子どもがいない時期があった。しかし今では、皆で子どもを見守る子育て環境に魅力を感じ、移住する家族も見られ、集落に28年ぶりに小学生が誕生した。



NPO法人  
子育てふれあいグループ自然花  
代表 大脇治樹さん



写真：枕崎市木口屋集落

活用! NPO共生・協働・かごしま推進事業



体験ツアーの中には、夕方の海岸で地元の方たちと缶ビールを飲みながら交流する「夕焼けビールツアー」というユニークなもの。



NPO法人 TAMASU  
代表 中村 修さん

人口1200人ほどの国直集落には、古くから防風林として地域を守ってきたフクギ並木やサンゴの石垣など、奄美大島ならではの風景が残っている。NPO法人TAMASUでは、この美しい景観を未来に残すため、地域一体でさまざまな取り組みを行っている。集落のあるべき理想の姿を住民が共に描き、海岸の清掃を毎月実施したり、地域の人材や自然、文化を生かした体験ツアーを行ったりしている。年間を通して行われる体験ツアーは、泳ぎ釣り、舟漕ぎなどバラエティー豊かな内容で、人気が高い。また、観光地としての魅力を発信するためにフォトコンテストも開催している。活動を通して地域の宝を再発見し、住民の結束も生まれるなど、集落がまぶしく輝いている。

03

住む人も訪れる人も、自然の恵みと豊かな暮らしを分かち合おう!

大和村国直集落  
NPO法人TAMASU

活用! 地域づくり実践力養成事業



地域づくりには、小さな一歩を踏み出す実践力も求められる。県では、地域づくりをリードしたりコーディネートしたりする人材を育成するために、全12回の講座を開催する。地域課題の見つけ方などを学び、それぞれの地域づくり企画書を作成。すぐに実践できる企画にすることで、自分たちの地域に持ち帰り、住民インタビューなどで検証する。受講修了生のつながりは、それぞれの一歩を踏み出すための刺激や支えにもなっている。

始良市(県内各地から参加)

05

地域づくりの  
プロデューサー  
を養成

活用! 地域コミュニティづくり重点推進モデル事業



「福元の理想の未来」と題した住民のワークショップから生まれた「山川子どもクラブ」。公民館で地域の高齢者が子どもたちを温かく迎え、高齢者の生きがいづくりにもつながっている。夏休みシーズンは学生ボランティアも参加し、地域ぐるみで子育てを行う取り組みが広がっている。

04

地域で支え合う  
放課後児童クラブ

指宿市福元地区

地域主体の  
取り組みを  
サポート

県では、校区などの範囲で行う地域コミュニティづくりや、地域資源を生かした住民主体の取り組みを支援しています。ここでは県の事業を活用した地域づくりをご紹介します。

活用! 地域貢献活動サポート事業



みんなの力を合わせることで、地域でできることが増えていく。

02

ウォーキングで発見!  
地域の良いところ、危険なところ  
避難経路をみんなで考え、防災マップに

松原なきさ校区コミュニティ協議会  
NPO法人Lかごしま

始良市では、小学校区単位の「校区コミュニティ協議会」づくりに取り組んでおり、松原地区の取り組みは、地域のNPOと連携するモデル事例となっている。

松原地区では、転入者の増加や小学校の新設などにより、地域の状況が変化しました。そこで、すべての住民が地域の課題などを共有するため、ウォーキングイベントを開催。歩いて感じたことを話し合い、コミュニティ防災マップを作成。災害時の避難に助けが必要な高齢者などがどこにいるか確認でき、安心・安全な地域づくりに向けて一歩前進した。



NPO法人 Lかごしま  
代表 吉村 哲朗さん

## 新しい地域づくりのカタチ

ビジネスの手法を活用しながら地域課題を解決するソーシャルビジネス（コミュニティビジネス）、クラウドファンディングなど、新しいカタチの地域づくりも芽生えています。

## 06

本と人をつなぎたい  
図書館の可能性は  
もっともっと広がる！

**NPO法人  
本と人をつなぐ「そらまめの会」**

指宿図書館と山川図書館は、NPO法人本と人をつなぐ「そらまめの会」の元気がいっぱい。スタッフにより運営されている。毎年9月には「こわいおはなし会」の後、図書館全体をお化け屋敷にした「図書館ミステリーツアー」を開催するなど、これまでにないさまざまな取り組みが進められている。

また、「全てのの人に本のある空間を届けたい！」という思いから、「走るブックカフェプロジェクト（移動図書館車）」に挑戦。クラウドファンディングという方法で全国から資金を集めており、現在約1100万円を超える支援を得ている。来年は、みんなの思いを乗せたブックカフェが街を駆け回る予定だ。



走るブックカフェは、お茶を飲んだり、本を読んだりしながら、集まった人とゆったりと交流できる空間を届ける。

### Q. クラウドファンディングってなんですか？

インターネットを通じて「こんな活動をしている」「こういった取り組みをやってみたい！」という情報を発信し、共感してくれる方から資金を集めることができる仕組みのことをいいます。



## 07

今日は水曜日  
買い物に行こう！

**高隈地区コミュニティ協議会**

毎週水曜日、一台のバスが地域と大型スーパーを往復する。交通手段がなく、日常の買い物に困っている高齢者や障害者を支える高隈地区コミュニティ協議会のドライブサロンの取り組みだ。バスの中では会話が弾み、笑い声が絶えない。ドライブサロンはただ外出に便利だけでなく、住民同士の絆を深める機会にもなっている。

鹿屋市は、中学校区単位の「地域コミュニティ協議会」づくりに取り組んでおり、そのエリア規模のメリットを生かしながら、福祉協議会などの関係機関と連携して、このような広域的な取り組みを進めている。



## 08

島と共にある暮らしを、もう一度

**東シナ海の  
小さな島ブランド株式会社**

「島の風景と昔のよくな人とのつながりをもっと一度構築したい」山下さんは、この思いを胸に甌島にUターンした。東シナ海の小さな島ブランド株式会社を立ち上げ、まず初めに米とサツマイモの生産に取り組んだ。これにより、棚田や畑といった昔ながらの豊かな景観作りにもつながった。現在は本業の豆腐作りに加え、特産品販売や地域の情報発信などさまざまな活動を行っており、ガイド「しまなび」では、住民だからこそ分かる島の魅力を楽しく案内する。

島の暮らしをしつかり受け継ぎながら、新しい取り組みに挑戦し続けている。



東シナ海の小さな島ブランド株式会社

代表 山下賢太さん

九州産大豆100%、海水にがりを使用して作られる、こだわりの豆腐。上甌島一帯に宅配も行っている。



## 09

新しい仕事を創って  
人を増やそう

**NPO法人トカラ・インターフェイス**

七つの有人島で成り立っているトカラ列島、十島村。NPO法人トカラ・インターフェイスでは、地域活性化のため、Uターン者を増やしたいとの強い思いから、村と連携して「トカラ島の仕事ビジネスプラン」を作成。島に仕事をつくり、移住者の自立した暮らしを目指している。島バナナ、島ラッキョウ、大名だけのこなどの特産品販売や、自然体験ツアーなど特有の資源を生かした新しいビジネスを企画し、地域の情報と一緒に発信する。島の魅力が広まり移住者が増え、十島村の人口増加率は一昨年の国勢調査で全国第2位となった。小さな村での大きな挑戦は、今も続いている。



皆のアイデアをひとつにして、特産品を使ったレトルト食品などの商品開発も行っている。



NPO法人  
トカラ・インターフェイス

代表 日高重成さん

### Q. コミュニティビジネスってなんですか？

地域にある資源や施設、人材などを生かしながら、地域の課題をビジネスの手法で解決しようとする取り組みのこと。新しいビジネスが雇用などを生み出し、地域活性化につながることが期待されています。

### 人や情報が行き交う拠点 「共生・協働センター」

平成28年10月にリニューアルし、展示・プレゼンスペースが充実。地域づくりの活動を映像やパネル、グッズなどで紹介しています。地域づくりの情報を発信したい時、知りたい時、企業も含めさまざまな団体とつながりたい時は、ぜひご利用ください。



お問い合わせはこちら  
県庁共生・協働推進課  
☎ 099-286-2241  
県共生・協働センター  
☎ 099-221-6613